

2015-B					
拠出金・基金の名称		国際熱帯木材機関(ITTO)拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国際熱帯木材機関(ITTO)					
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局地球環境課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>本事業は、特に①持続可能な森林経営の促進、②森林減少及び森林劣化の抑制を目的として、国際熱帯木材機関(ITTO)が行う熱帯木材生産国におけるプロジェクト等を支援するものである。本事業を通じ、我が国が責任ある国際社会の一員として、環境・気候変動問題に積極的に取り組んでいるとの評価を国際社会から得ることにつながる。</p> <p>熱帯木材生産国における持続可能な森林経営等を支援するためのプロジェクトの実施はITTOの中核的な活動であるが、本事業は、こうしたITTOが行うプロジェクト等の実施に対する拠出金である。我が国は、ITTOの本部ホスト国でもあり、応分の貢献を示すことは、ITTOのプロジェクト形成・実施機能を維持する上でも重要であり、さらに他の先進加盟国の当該分野への協調した対応を誘引する観点からも効果を有するものである。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成27年度	113,381	1,031		1米ドル = 110円	100
平成26年度	255,147	2,630		1米ドル = 97円	100
平成25年度	117,892	1,455		1米ドル = 82円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>1. 我が国は世界有数の熱帯木材輸入国。我が国の重要外交課題の一つである、地球環境の重要な要素たる熱帯林保全の推進のため、持続可能な森林経営(SFM)を促進することは重要。ITTOは、これまでにアジア、アフリカ、中南米において1,000件以上のプロジェクトを実施し、SFM分野において6,000名以上の研修を実施。熱帯林のSFMを目的とするITTOの事業に貢献することは、我が国が責任ある国際社会の一員として、環境課題に積極的に取り組んでいるとの評価につながる。</p> <p>2. 本拠出金は、上記プロジェクトの実施に利用され、熱帯林のSFM推進が期待される。</p>					